



先月の山行

- ☆ 9月 8日(日) 毘沙門岳
- ☆ 28日(日)

10月の予定

- ☆ 6日(日) 大御影山
- ★ 10日(木) 例会
- ☆ 27日(日) 倉谷山 6時半 カネキ運輸

11月の予定

- ☆ 10日(日) 一乗城山～白樺～一乗滝

あさくら水の駅 7時集会

mystery course

CL 宮本重信 090-8260-8108

- ★ 14日(木) 例会
- ☆ 24日(日) 大谷山～(マキノから)

CL

12月12日 忘年会 味美屋

<https://asihiking2.jimdo.com/山行計画-1>

を検索して下さい。

山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

[山行報告]

毘沙門岳(1385.5m)

2019年9月8日(日)



午前6時集合。今日は総勢13名の参加。車3台に分乗し、大野市から九頭竜湖を經由して白鳥高原スキー場のある檜峠まで行く。台風の影響が心配された天候も、むしろ暑いぐらいに晴れ上がった。峠には駐車スペースがあり、そこで身支度を整える。背中にじりじりと日差しが照りつけ、今日の山行が暑さとの戦いになることを予感する。

檜峠は大日ヶ岳との分岐点となっており、毘沙門岳へは泰澄大師像横の登山道から平坦な道に行く。しばらくすると下りになり、深く下っていく。平坦な道になりホッとしたかと思うと登りに転じ、はたまた下っていく。下るのはよいが、帰りは登らなければならない…そんな思いがチラッとよぎった。

杉林の中は風がなく、気温の上昇に伴って汗が噴き出す。小さな渡渉、苔むした岩に足を取られないよう慎重に渡る。稜線に出るまでは展望がなく、深い林の中でアップダウンを繰り返したこともあり、心は切れ切れ。稜線に出て「山頂まで80分」の標識があり、やっと先が見えた気がした。夏場は涼を求めて高山に行く。これほど汗を流した記憶がない。9月に入ってからの真夏日…しかし、空は高い。季節は確実に秋を迎えている。ススキも穂を開きたたずんでおり、わずかな風に揺れる姿が可愛い。

山頂に近くなったところで振り返ると、スキー場の上で大日ヶ岳、その奥に白山が望めた。最後の急登を登り切り山頂へ。渾身の登りだった。

誰にもすれ違うことなく、山頂は貸し切り状態。伴藤シェフによる本日のメニューは・・・鶏肉のソテー、野菜とにんにくたっぷり！疲れた体に染み渡り、元気回復！！食の力は大きい。

下りは来た道をたどる。お約束のアップダウン逆バージョン。駐車場まで戻った時は、やり切った感で満たされた。満天の湯に寄り、今日の山行を終える。

【ご挨拶】

6月に山遊会より移らせていただきました。が、なかなか予定が合わず、ようやく皆さんと一緒にすることができました。ありがとうございました。

名もなき山も名高き山も、四季を通じて楽しんでいます。咲き誇る花々、吹き渡る風、色づく樹々、きらめく樹氷・・・一期一会の風景に一回でも多く逢いにいきたいと思っています。これからも皆さんと楽しい山行ができたら幸せです。今後ともよろしく願いいたします。

「編集後記」

9月15日 日本遺産認定記念、朝倉トレイルマラソンに参加しました。一乗城山435mや御茸山、槇山、日帰りで山行出来る山が沢山ありました。

綺麗に整備されている登山道に、あしハイの皆様には物足りないかもしれませんね。



日本勤労者山岳連盟発行「登山時報」では、労山会員の皆さんからの投稿写真を募集しています。

登山時報投稿写真係 <mailto:tozanjiho@jwaf.jp>
山行原稿を